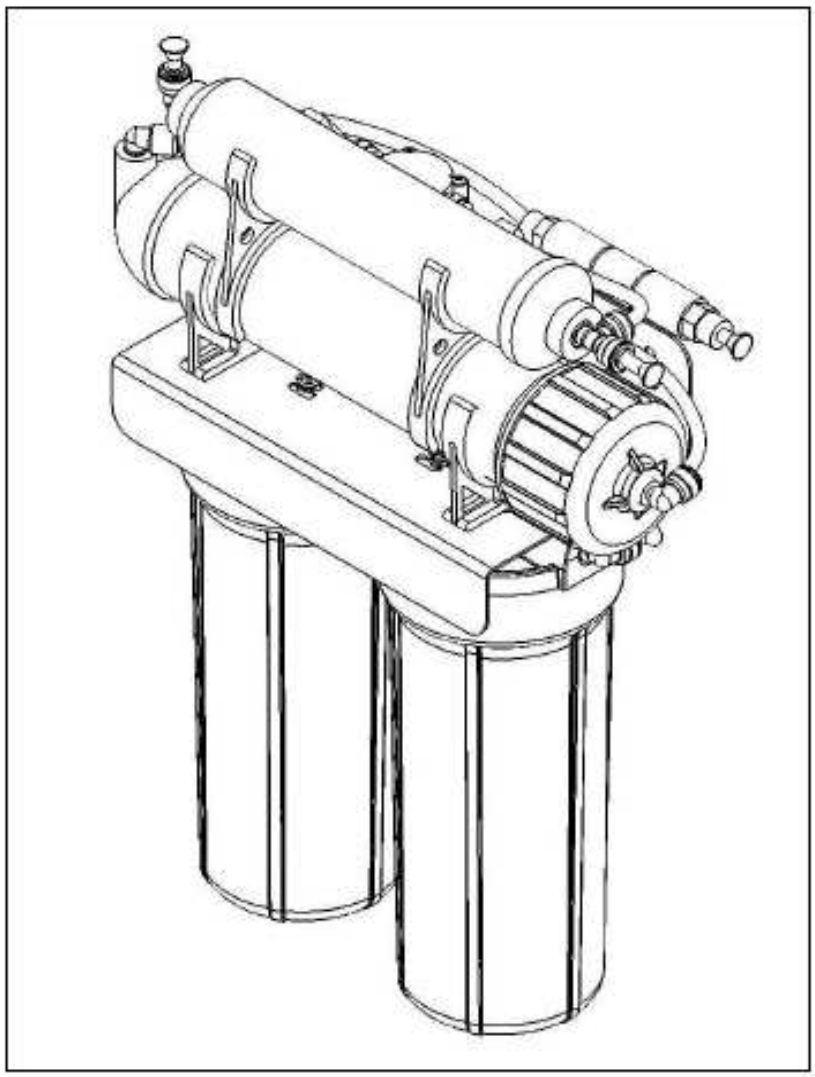
RO-2500 （参考和訳）



本マニュアルはPentair社発行の英文マニュアルの参考和訳です。
翻訳には正確を期しておりますが、万一内容的に英文と差異がある場合は英文の内容が優先されます。
この訳のために被った損害に関して、訳者はいかなる責任も負いません。

1．安全上のご注意

重要：　本浄水器の設置前に、ご使用場所の水道が以下の動作条件を満たしていることを確認してください。動作条件を満たさない場合、性能の低下や製品の故障につながるおそれがあります。

【動作条件】

水道圧：	2.75～6.9 気圧
水温：	4.4～37.7 ℃
TDS値:	2000 ppm以下
硬度：	171 mg/L以下
硫化物、鉄、マンガン：	合計0.1 ppm未満
塩素：	2 ppm未満
pH値：	3～11

【製品仕様】

フィルム薄膜型番：	TFM-36
浄水製造量：	44.5L/日（メーカー社内試験による）
TDS除去率：	92～99%
濁度：	5 NTU以下

※　水道水硬度が171mg/L以上の場合、逆浸透膜にスケールが付着しやすくなります。スケールが付着すると目詰まりをおこし性能が低下するため、硬度の高い水道水への使用は非推奨となります。

[標準付属部品]

- ・逆浸透膜カートリッジ
- ・貯水タンク
- ・給水アダプタ
- ・浄水蛇口
- ・排水クランプ
- ・給水チューブ
- ・1/4インチチューブ
- ・フィルターケース用レンチ
- ・浄水タンクバルブ
- ・3/8インチチューブ

[施工に必要な工具]

- ・電動ドリル
- ・ドリルビット（3mm、5mm、6mm、10mm）
- ・ホールソー（30mm）
- ・センターポンチ
- ・ドライバー（＋、－各1ヶ）
- ・ヤスリ
- ・モンキーレンチ×2ヶ

[製品寸法]

本体寸法：	幅34.29cm × 奥行12.7cm × 高さ43.8cm
重量：	7.84 kg
タンク寸法：	幅34.29cm × 奥行20.32cm × 高さ22.86cm
タンク容量：	4.9L
タンク空気圧：	0.34～0.48 気圧
タンク重量（満水時）：	6.5 kg

【ご注意ください】

注意： 有害微生物を含む水や状態が不明な水に使用する場合は、浄水器を通す前または通した後に必ず適切な殺菌処理を行ってください。

注意： フィルターは凍結させないでください。凍結するとフィルターの破損や水漏れにつ

ながるおそれがあります。

注意： 本体へのダメージや水質の低下を避けるため、フィルターケースは５～１０年毎に交換されることをおすすめします。

注記：

- ご使用場所の原水は上記の動作条件を満たしている必要があります。動作条件を満たさない環境でのご使用はフィルターの寿命を縮める他、故障した場合に保証の対象外となることがあります。
- 本浄水器は水中の微生物を除去することを目的とした製品ではありません。
- 本浄水器は冷水専用です。温水への使用はお控えください。
- フィルターケースのネジ部に接着剤やシーリング材を使わないでください。必要な場合はフッ素樹脂製のシールテープを使用してください。
- 本浄水器の設置がご使用になる地域を管轄する水道局の基準に適合していることを確認してください。
- フィルターカートリッジには寿命があります。浄水の味、臭い、色などに変化が見られましたらフィルターを交換してください。
- 浄水器をしばらく使用しなかった場合は、内部を洗浄するため５分程度通水してから使用再開してください。
- フィルターには活性炭の微粉末が含まれています。設置後初回使用時は５分程度通水して微粉末が出なくなるのを確認してからご使用ください。
- 浄水を飲用や調理用に使用する前に20秒程度通水することをおすすめします。
- 本浄水器によって除去された不純物やその他の物質は必ずしも原水中に存在するとは限りません。

逆浸透膜に関する注意

警告： 水中の塩素は逆浸透膜を痛めます。塩素を含む原水に使用する場合は必ず付属のプレフィルターを使用してください。塩素が確実に除去できるよう、プレフィルターは３ヶ月毎に交換してください。

注記：

- 市販の残留塩素テスターを利用して本浄水器の排水を計測することで、塩素がプレフィルターで正常に除去されているかを確認することができます。プレフィルターが正常に機能している場合、排水中に塩素は検出されません。
- 本浄水器のTFM-36逆浸透膜は自然発生する微生物への抗菌性があります。

逆浸透膜の動作の仕組み

RO-2500逆浸透膜式浄水器は水中の塩分やミネラルを除去し、水の味や臭いを改善します。逆浸透膜は多層の薄膜から構成され、中心の多孔管の周囲を覆っています。水の分子はこの膜を通過することができますが、水中に溶解した不純物は通れません。

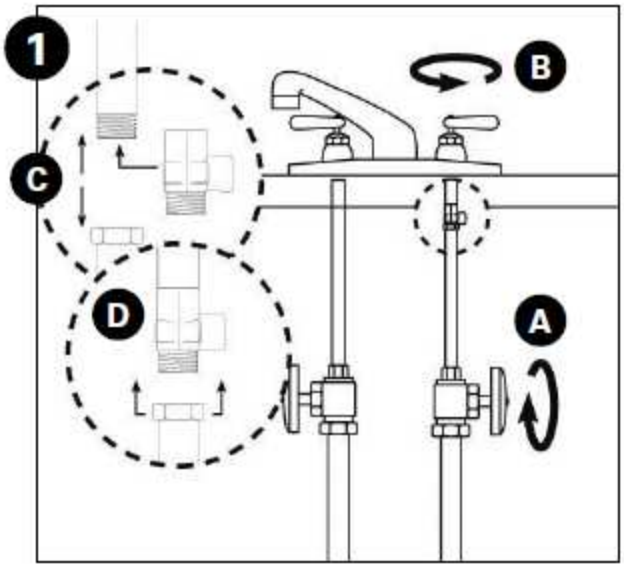
RO-2500逆浸透膜式浄水器には構造の異なる４つのフィルターが組み込まれています。まず２種類のプレフィルターが原水中の錆や泥、塩素を除去し、次に逆浸透膜によって浄水が精製されます。浄水の精製は水道圧を利用して行われ、浄水タンク内に貯められます。水中の不純物は逆浸透膜を通過できないため、排水中に排出されます。浄水蛇口を開けると、浄水タンクからポストフィルターを通して浄水蛇口へと水が流れます。ポストフィルターには活性炭が含まれており、浄水中に僅かに残った気体成分を取り除き、よりおいしい水を作ります。

浄水の精製時には必ず排水が出ます。逆浸透膜カートリッジは12～24ヶ月に一回交換してください。

２．浄水器の設置

・　本浄水器の設置や使用前に説明を全てお読みください。
・　図中の番号は手順の番号と対応しています。

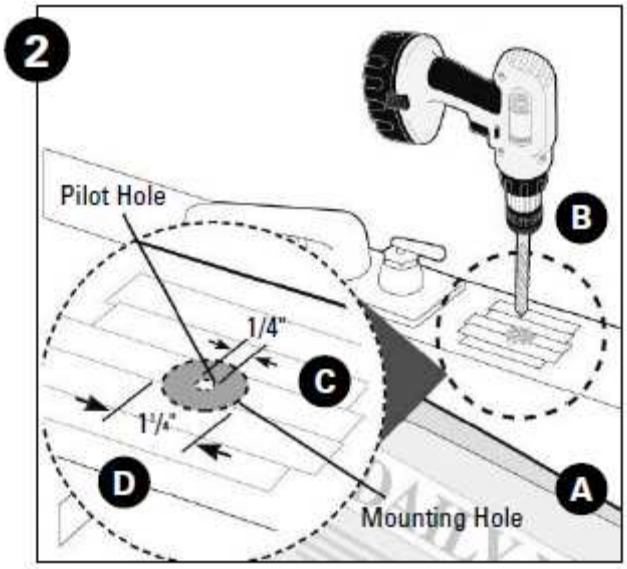
ステップ１－給水アダプタの取付



給水アダプタは1/2インチ管用平行ネジ（G1/2）と適合します。この給水アダプタを用いて本品を水道管（冷水）に接続することができます。水道管の継手がこれ以外の形状の場合や、ご使用場所を管轄する水道局の規制がある場合は、お近くのホームセンターや水道配管部品取扱店から適合するコネクターを別途お求めください。

【作業手順】
(A) 水道管の止水栓を閉じてください。もしシンク下に止水栓がない場合は止水栓を追加設置してください。
(B) 水道蛇口を開き、蛇口内に残っている水を排水してください。
(C) 蛇口の下のG1/2管用平行ネジの継手部分から水道管を外してください。
(D) 右図のように継手部分に給水アダプタを入れて水道管を締結してください。

ステップ２－蛇口取り付け位置の選定



浄水蛇口の取り付け位置を、機能性、利便性、外観などを考慮して決定してください。浄水蛇口のベースをしっかりと取り付けるには適切な平面部が必要です。蛇口は30㎜（1.25インチ）の穴に入ります。水栓の増設用に30～35㎜の穴が予め開けられているシンクであれば、この穴を利用して取り付けることもできます。もし予め開けられた穴が使えなかったり、場所が不便だったりした場合には、30㎜の穴をシンクに近い平面に新たに開ける必要があります。

注意： この工程で出る切りくずは目に入ったり吸い込んだりすると炎症を起こすことがあります。安全メガネやマスクの着用をおすすめします。

注意： 陶器製やホーロー製のシンクには穴をあけないでください。このようなシンクの場合、予め開けられた穴を利用するか、カウンタートップを通しての取り付けをおすすめします。

注意： カウンタートップに穴をあける場合、穴の下部にケーブルやパイプを通すのに十分なスペースがあることを確認してください。蛇口の下部に適切に接続するための十分な余地があることを確認してください。

注意： 25㎜以上の厚さのカウンタートップに穴をあけないでください。

注意： タイル、マーブル、御影石などのカウンタートップには穴をあけられません。配管業者やカウンタートップメーカーにご相談ください。以下の説明はステンレス製のシンクの場合に限ります。

【作業手順】

(A) 切り粉、部品、工具などが排水口に落下するのを防ぐため、シンクの下部を新聞で覆います。

(B) 穴をあける部分をマスキングテープで覆い、キズやドリルビットのスリップを防ぎます。

(C) センターポンチを使って穴の中心に印をつけます。6㎜のドリルビットを使って中心穴をあけます。

(D) 30㎜ホールソーを使って穴を広げます。ヤスリでバリを取り除きます。

ステップ３－蛇口の設置

【作業手順】

(A) 蛇口のステムナットをゆるめ、金属製のＣ型ディスクを外します（既に組み込まれていた場合）

(B) 3/8インチ（約9.5㎜）の排水チューブを蛇口ベース部のホースニップルに接続します。このチューブはステップ４で設置する排水クランプに届く長さが必要です。

(C) 外径1/4インチ（約6.5㎜）の排水チューブを蛇口ベース部のもう片方のホースニップルに接続します。このチューブは本体右側まで届く長さが必要です。

(D) 排水チューブをクローム板と黒いゴムのワッシャーの穴に通します。

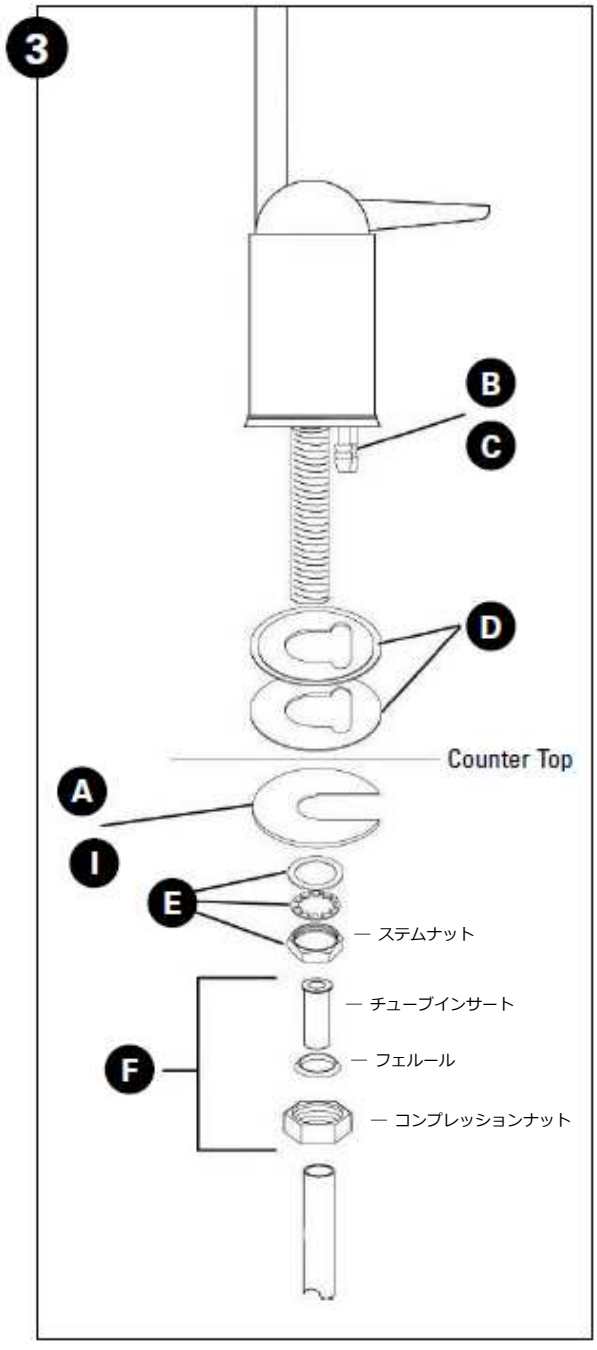
(E) ロックワッシャーをネジ部に通しステムナットで留めます。

(F) チューブの端部15㎜のところに油性ペンなどで印を付けます。チュービングインサートをチューブに差し込みます。コンプレッションナットをチューブに通します。フェルールをチューブに通します。ナットを通し、蛇口のネジに締め付けます。少しきつくなるまで絞め付けてください。

注記：（Ｆ）のコンプレッションナットを締め過ぎないでください。設置完了後の試運転で水漏れが生じた場合のみ増し締めを行ってください。

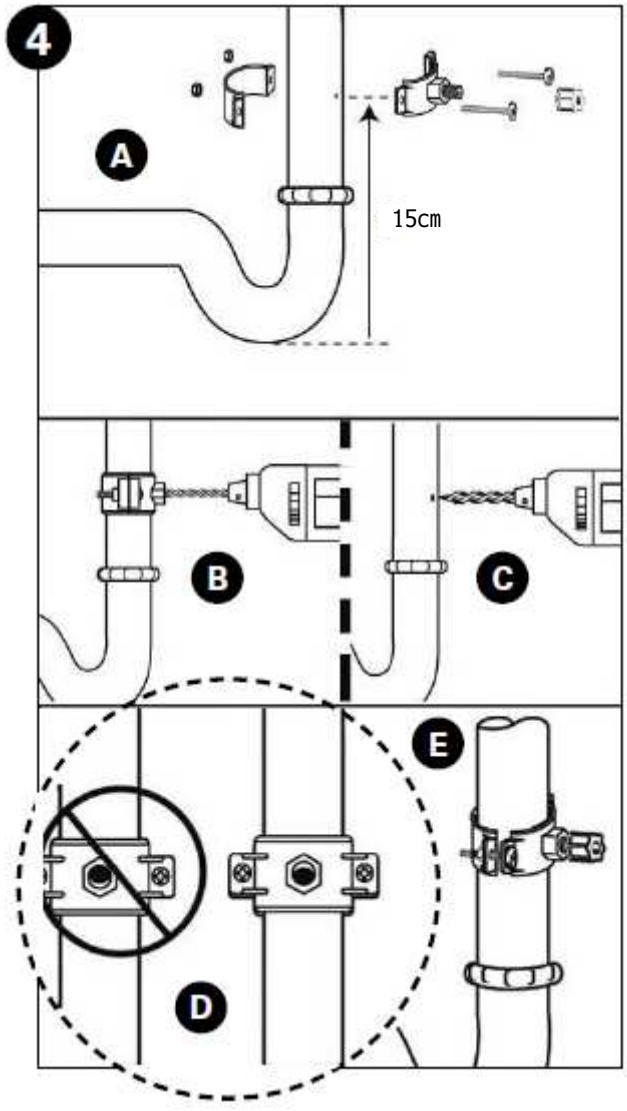
(G) 蛇口を保持し、３本のチューブをシンクの穴に通します。蛇口のハンドルを目的の場所に向けます。

(I) 蛇口を穴の中心に固定し、Ｃ型ディスクを白色の延長軸と設置場所のカウンタート



ップまたはシンクの裏面との間に差し込みます。スパナを使ってステムナットをきつくなるまで締めてください。
（J）蛇口ベースに鶴首吐水パイプをしっかりと差し込んでください。

ステップ４－排水クランプの設置

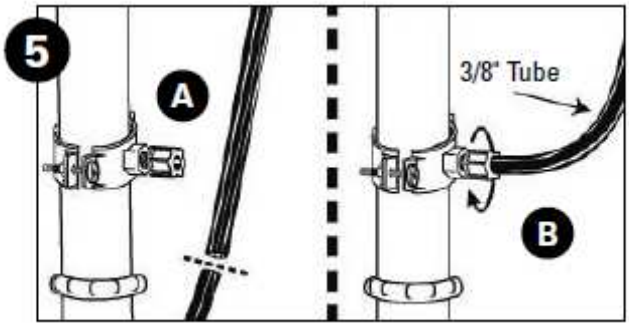


注記：

- ディスポーザーユニット（排水口設置型生ゴミ処理機）付きの一槽式シンクの場合、本浄水器の取り付けにはお近くの配管業者や設備業者とご相談ください。
- 排水クランプの設置前に、シンク下の排水パイプが傷んでいないか確認してください。パイプが傷んでいる場合は設置前に交換してください。

【作業手順】
（A）トラップから約15センチ上部で、排水管の垂直部に排水クランプを取り付けます。排水クランプの開口部が浄水蛇口側を向いていることを確認してください。（右図をご参照ください）
（B）排水クランプのフィッティング穴をガイドに、排水パイプの片面に6mmの穴をあけてください。
（C）排水パイプから排水クランプを外し、穴を10mmのドリルビットで拡張してください。穴の縁のバリをヤスリで落としてください。
（D）黒いゴム製パッキンが排水クランプの内側にくっついていることを確認し、ドリルで開けた穴に合わせます。穴から覗いて、クランプの穴の中心がドリルで開けた穴の僅かに上（1～2mm）になるよう調整してください。クランプをしっかり絞めつけてください。
（E）プラスチック製のコンプレッションナットを排水クランプに手で絞めつけてください。

ステップ５－蛇口と排水の接続



注意： このチューブ内の排水は加圧されません。ループ、ねじれ、鋭角での曲げのないように施工を進めてください。このチューブ配管がスムーズでない場合、排水が蛇口のエアギャップからカウンタートップや蛇口の下に漏れ出すおそれがあります。

【作業手順】
（A）3/8インチの排水チューブを蛇口と排水クランプのコンプレッションナットに合わせます。チューブに折れやねじれがなく、できるだけスムーズにつながるように調整してください。チューブをナットの下で真っ直ぐにカットし、チューブの中と外のバリを取り除いてくだ

さい。

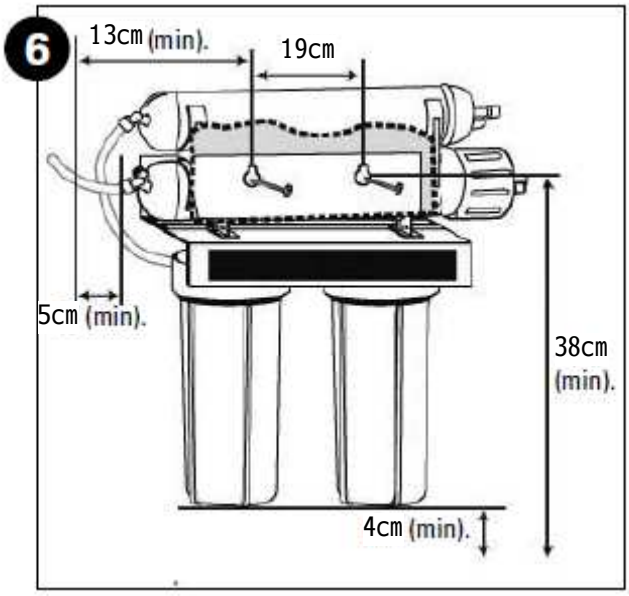
(B) コンプレッションナットを２回転分だけゆるめます。ナットにチューブを止まるまで差し込みます。指で止まるところまで締め、続いてスパナを使って１～２回転だけ増し締めします。

ステップ６－本体取付ネジの設置

【作業手順】

(A) 本浄水器をキッチンシンク下に取り付ける場合、シンク下スペースの奥面か右側の壁に取り付けます。施工に十分なスペースがあることを確認してください。フィルターカートリッジの交換には、本体の下に最低40㎜の隙間が必要です。同様に、本体の左側最低50㎜または左側のブラケットの取付ネジの穴から130㎜が必要です。

(B) 本体取付ネジを設置場所の底面から最低380㎜の所に、190.5㎜の間隔で取り付けます。ブラケットをネジにスライドさせて通すため、8㎜のスペースをネジの頭と壁の間に残してください。

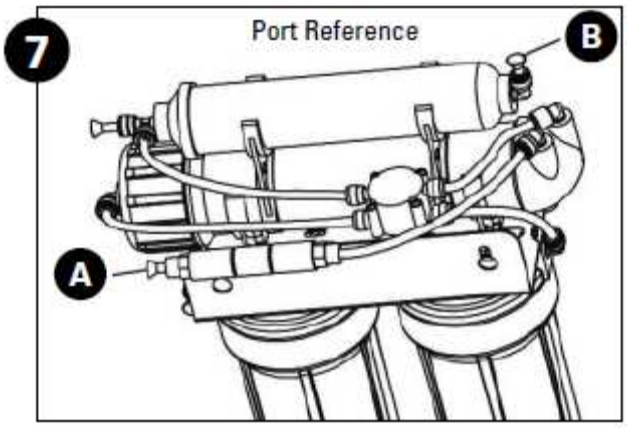


注記： 本体の各接続部に入っている保護用のプラグはチューブ取り付け前に取り外してください。カラーを押し込みながらプラグを引き抜きます。

ステップ７－蛇口と本体の接続

【作業手順】

(A) 浄水蛇口に繋がっている２本の排水チューブの内、細い方のチューブを手に取り、このチューブの端部から15㎜の所に油性ペン等で印を付けてください。チューブの先端を水で濡らし、本体右側、フィルターケースの背後にある流量調整器（flow restrictor)のワンタッチ継手に差し込んでください。チューブがしっかり差し込まれていない場合水漏れにつながるおそれがあります。目印がワンタッチ継手から見えなくなるまで差し込んでください。



注記： チューブを抜く必要がある場合は、継手のカラー部分を押しながらチューブを反対の手で引っ張ると簡単に抜けます。

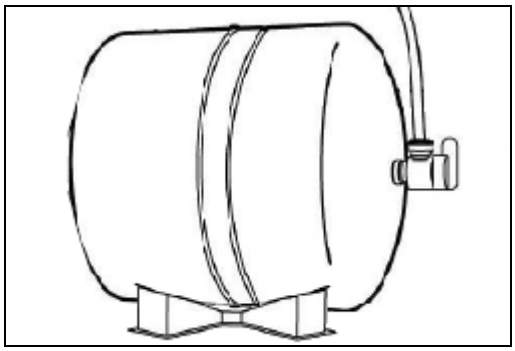
(B) 外ネジ付き金属チューブから出ている蛇口チューブはポストフィルターに接続されます。継手は本体の上部左側です。チューブの先端をワンタッチ継手に差し込みます。

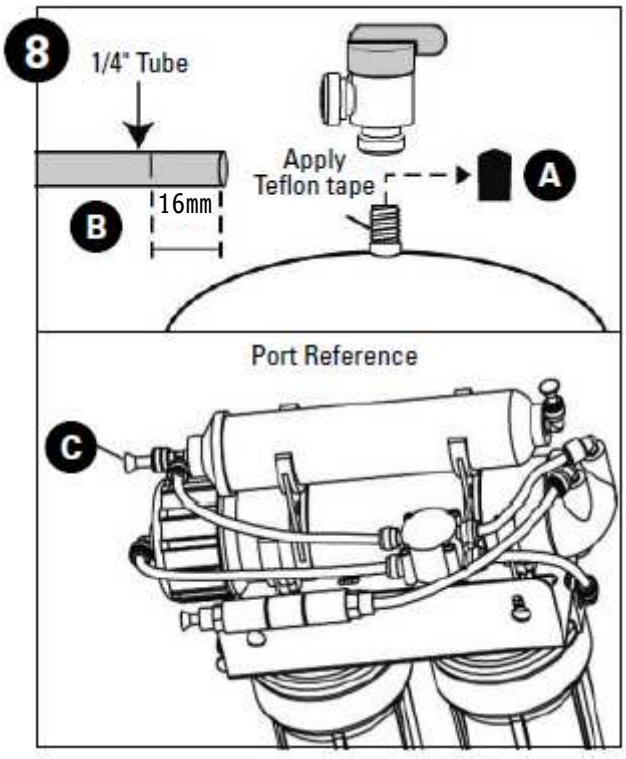
ステップ８－貯水タンクと本体の接続

注意： 浄水タンクは満水状態では約6.5kgになります。付属のスタンドを使い平らで安定した場所に設置してください。

注記： 浄水タンク底部には保護キャップがついています。設置前に取り外してください。

注記： 浄水タンクは下図のように付属のスタンドの上に横置きにすることもできます。





【作業手順】

(A) 水漏れ防止のため、タンクのネジ部にシールテープを3周以上巻いてください。タンクバルブをタンクの上部にねじ込んでください。ハンドルがチューブと並ぶようにタンクを回転してください。

注意： 正しくシールテープが巻かれていない場合タンクとバルブの接続部から水が漏れます。

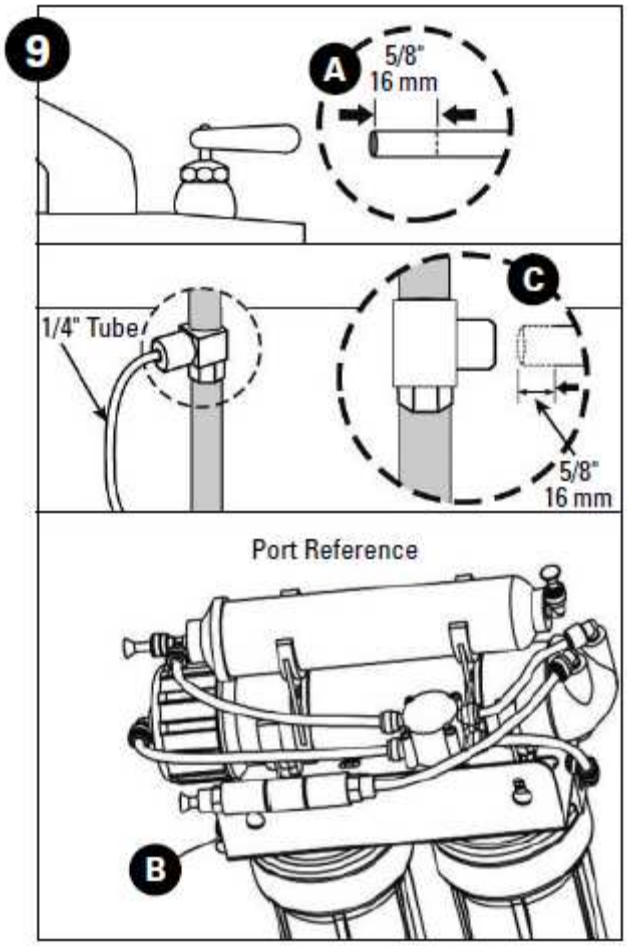
(B) 1/4インチチューブを見つけてください。先端から16㎜のところに印をつけてください。先端を水で湿らせ、浄水タンクバルブの接続部にひねるようにしながら印のところまで差し込んでください。タンクは本体の近くに設置してください。

(C) チューブを適切な長さにカットしてください。ポストフィルターのチーズ継手の右側にある白いワンタッチ継手に接続します。

(D) 本体を壁に設置した本体取り付けネジにひっかけてください。

注意： 本体が落下しないよう、壁に確実に取り付けられていることを確認してください。

注記： 壁にかける際に本体背面のチューブが曲がったり折れたりしないように注意してください。



ステップ９－給水アダプタとプレフィルターケースの接続

【作業手順】

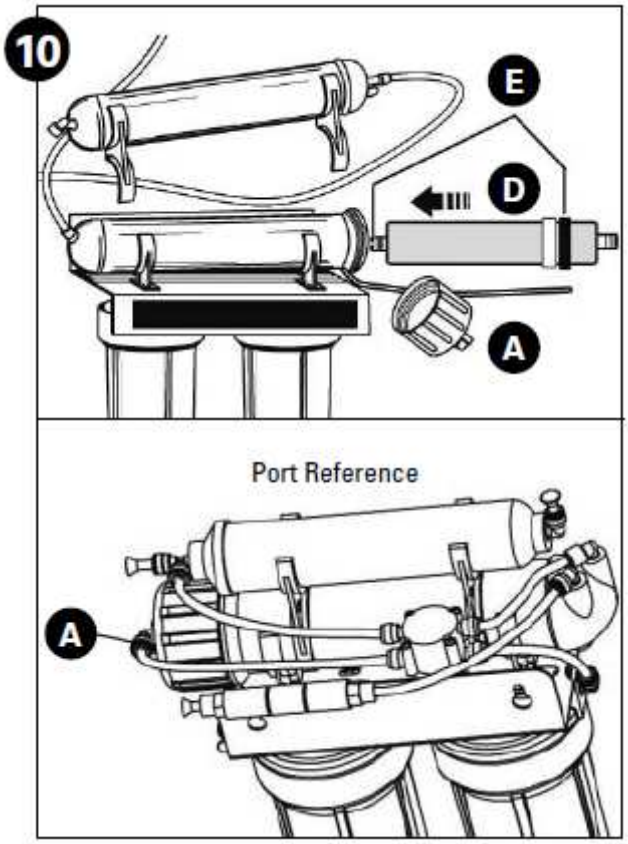
(A) 残りの一本の1/4インチチューブを見つけ

てください。先端から16㎜のところに印をつけてください。
(B) 本体右側のワンタッチ継手に差し込んでください。
(C) 冷水供給フィッティングに接続できる長さにチューブをカットしてください。チューブがねじれないように注意して継手に差し込んでください。

ステップ１０－逆浸透膜カートリッジの取り付け

【作業手順】

(A) 逆浸透膜ケースのワンタッチ継手に付いているチューブを外してください。
(B) 逆浸透膜ケースを片手で押え、反対の手でキャップを外してください(専用のスパナが付属しています)。このときポストフィルターをホルダーから一時的に外すと作業がしやすくなります。
(C) 清潔な手(使い捨てゴム手袋があれば利用してください) で、逆浸透膜をポリ袋から取り出してください。取扱いには十分注意してください。

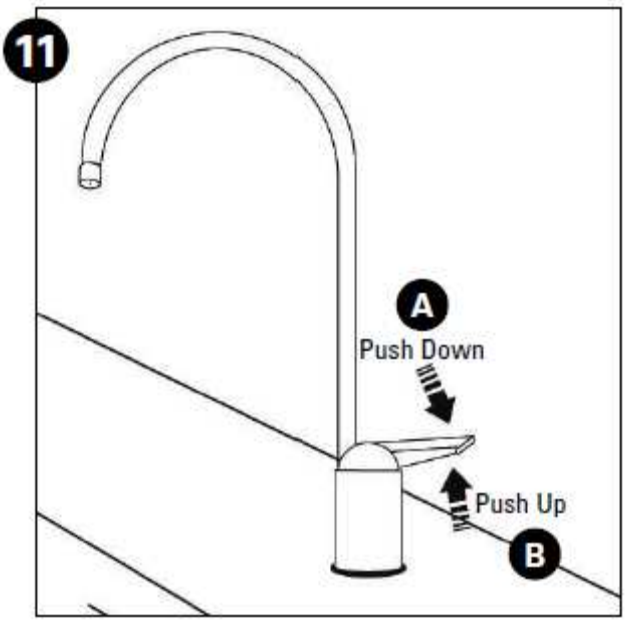


警告： 逆浸透膜カートリッジ表面のテープを剥がさないでください。これは製品の一部です。また、逆浸透膜をしぼらないでください。

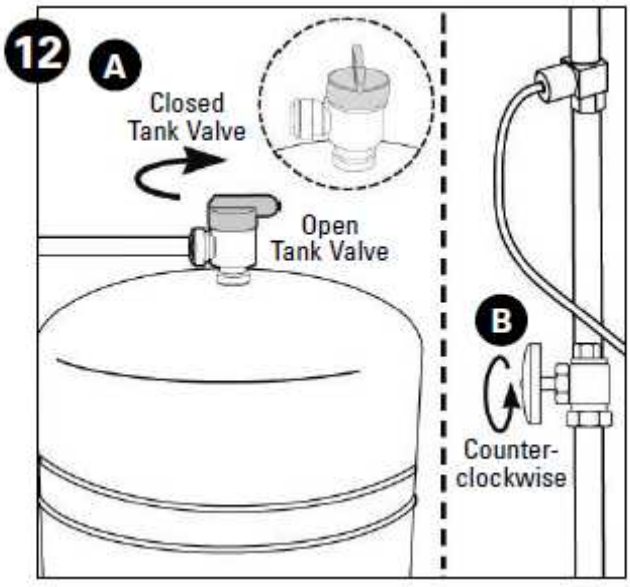
(D) 逆浸透膜カートリッジを、二重Oリングの側を先にしてケースの奥まで差し込んでください。逆浸透膜のプラスチック製の芯が約3㎜ケースから飛び出している状態が正しい取り付け位置です。
(E) 清浄なシリコーングリース (付属品) を使いOリングと排水パッキンを潤滑してください。逆浸透膜ケースのキャップを手で止まるところまで締めたのち、1/2回転だけ増し締めしてください。締め過ぎないでください。
(F) （A）で外したチューブをワンタッチ継手に再度差し込んでください。

ステップ１１－浄水蛇口の操作

(A) 浄水吐水量を調整する場合には、ハンドルを押し下げてください。
(B) 一定の流量で流し続けるには、蛇口のハンドルを押し上げてください。



ステップ１２－浄水器のスタートアップ



注記：

- 逆浸透膜カートリッジは食品添加物用の消毒剤で殺菌されています。飲んでも害はありませんが、最初はこの味が感じられる場合があります。しばらく通水するとこの味はなくなります。
- ポストフィルターは活性炭の微粉末を含んでいます。この微粉末は無害ですが、水の色が濁って見えることがあります。最初のタンク一杯分の水を流すとなくなります。
- 逆浸透膜式浄水器は他の方式の浄水器と異なり、すぐに大量の浄水を作ることができません。貯水タンクが満水になるには約２～４時間が必要です。タンクが満水以下になると自動的に浄水の製造を開始し、満水になるとストップします。
- 浄水の製造中は、浄水蛇口ベース部のエアギャップ穴から通気音が生じます。エアギャップは排水口からの水や雑菌の逆流を防ぐための機構ですので、特別な理由のない限りは塞がないでください。浄水蛇口を経由せずに浄水器から直接排水アダプタに接続する場合は、間に逆止弁を取り付けるなどして水や雑菌が排水口から逆流することのないように対策してください。

注意： 水漏れがないか全体を再確認してください。もし水漏れがある場合は後述のトラブルシューティングを参照してください。

【作業手順】

(A) 浄水タンク上部のバルブを閉じてください。
(B) 水道の止水栓を開いてください。
(C) 浄水蛇口のハンドルを上げた状態で30分間水を流しっぱなしにしてください。
(D) 水道の止水栓を全開にし、更に３時間水を流してください。その後浄水蛇口を閉じて貯水タンクのバルブを開けてください。貯水タンクのバルブはハンドルがチューブと平行になると「開」の状態になります。
(E) タンクが満水になるまで２～４時間放置してください。この間、水漏れがないか浄水器や配管全体を時々チェックしてください。タンクが満水になったら、浄水蛇口を開き、タンクの水が空になるまで通水します。(約４～５分)
(F) 浄水蛇口を閉じ、タンクに水を貯めます。

注記： 使い始めは浄水が濁って見えることがあります。これはポストフィルター内に閉じ込められていた空気が浄水に混ざるためです。泡はすぐに消えますが、そのまま飲用しても無害です。閉じ込められていた空気が完全になくなるまでは最大１週間程度かかることがあります。

本浄水器の使用準備はこれで完了です。
逆浸透膜システムによる高純度浄水をお楽しみください。

3. 他機器と接続する（オプション）

本浄水器を冷蔵庫の製氷機やウォーターサーバーに接続する場合

警告： 本浄水器を冷蔵庫の製氷機に接続する場合、前記ステップ１２の要領でポストフィルター内の活性炭微粉末を一度排出してから製氷を開始してください。

警告： 配管や継手には金属製のものは避け、樹脂製のものを使用してください。

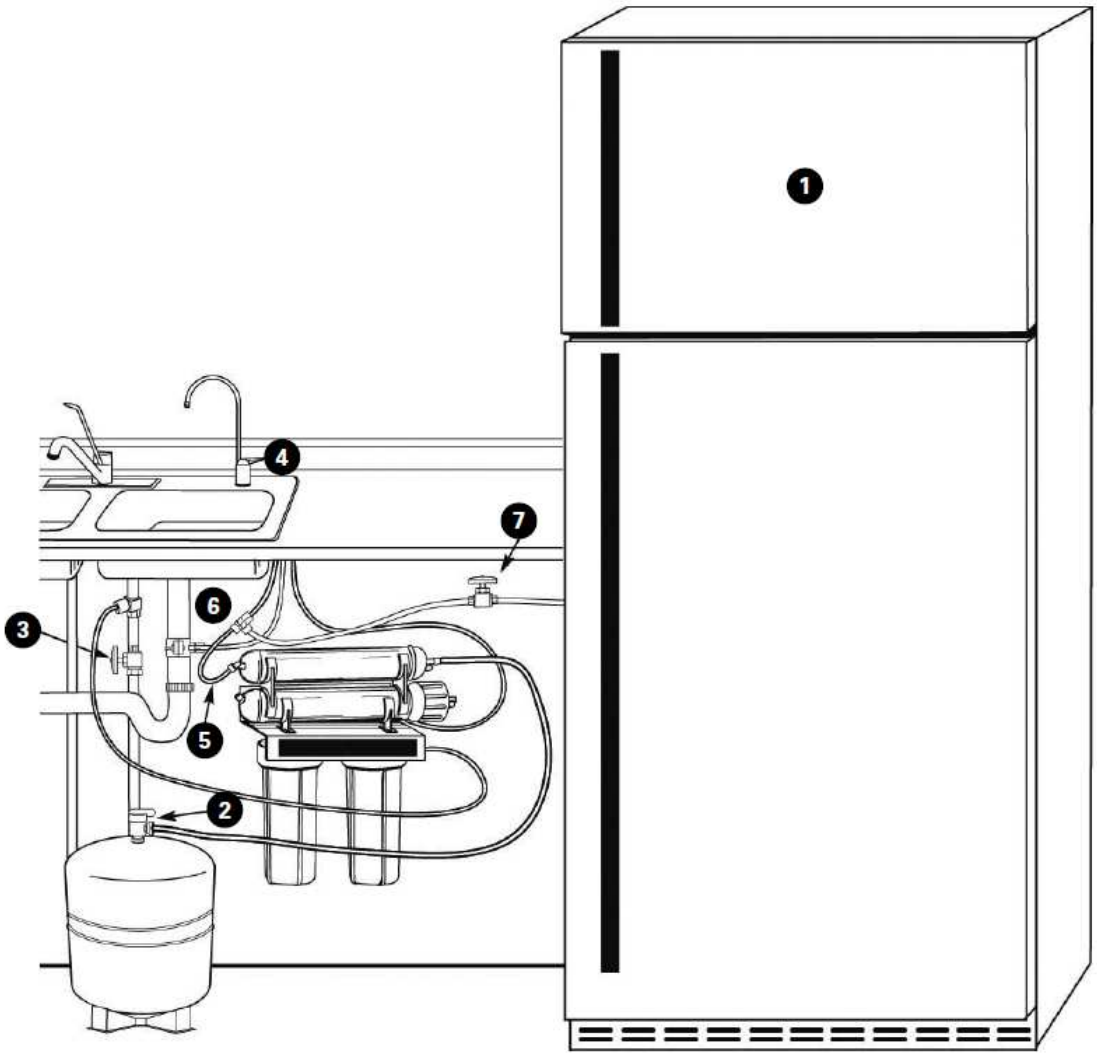
注記： 最適な浄水性能を得るため、本浄水器と製氷機やウォーターサーバーの間隔は３メートル以内にすることをおすすめします。配管が長すぎる場合、送水のための圧力が不足することがあります。

【必要部品】（お近くのホームセンターや水道部品取扱店でお求めください）

- 1/4インチ×1/4インチ×3/8インチ　コンプレッションまたはクイックコネクトチーズ
- 3/8インチポリエチレン製チューブ
- 止水栓

【作業手順】

1. 冷蔵庫への給水と製氷機能を停止してください（操作詳細は冷蔵庫の取扱説明書をご参照ください）
2. 浄水タンク上部のバルブを閉じてください
3. 本浄水器に接続している水道管の止水栓を閉じてください



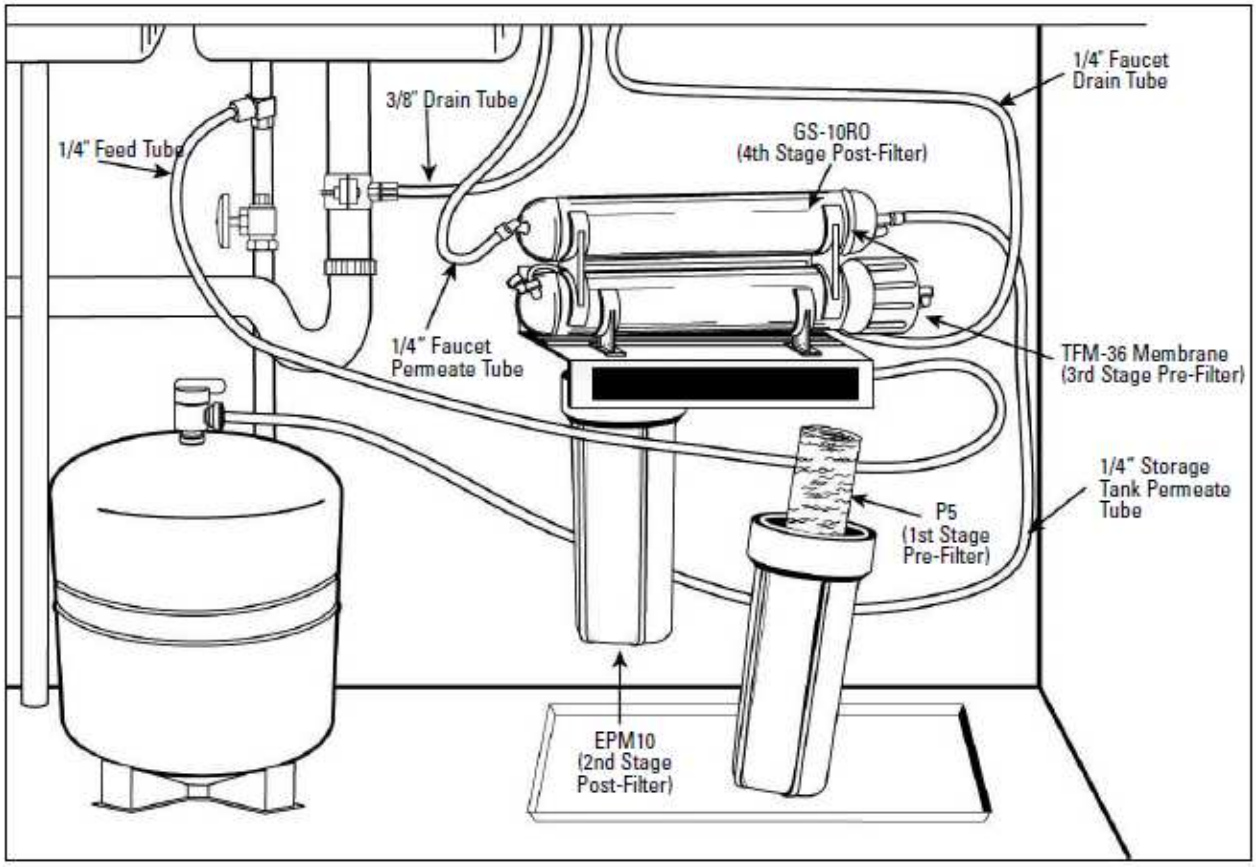
4. 浄水蛇口を開き、本体内部の圧力を抜いてください
5. 浄水蛇口へとつながっている浄水チューブを切断し、ご用意のチーズ継手を取り付けてください（チューブ内に残った水が少量こぼれることがあります）
6. 3/8インチポリエチレン製チューブを使い、チーズ継手と製氷機またはウォーターサーバーを繋いでください。
7. チーズ継手と製氷機またはウォーターサーバーの間に止水栓を設けてください。なるべくチーズ継手に近いところに取り付けます。また、このとき止水栓は閉の状態にしておいてください。
8. 水道管の止水栓を開いてください。
9. 浄水タンク上部のバルブを開いてください。
10. 浄水蛇口を閉じてください。
11. 製氷機をオンにして、止水栓を開いてください。
12. 水漏れがないことを確認してください。

４．プレフィルター、ポストフィルターカートリッジの交換方法

プレフィルター（第一フィルターおよび第二フィルター）カートリッジ

第一フィルターおよび第二フィルターのカートリッジは６ヶ月毎の交換が必要です。原水中に泥や錆などの個体不純物が多く含まれる場合、第一フィルターの交換時期が早まることがあります。原水中の塩素濃度が高い場合、第二フィルターの交換時期が早まることがあります。

1. 水道管の止水栓と浄水タンク上部のバルブを閉じてください。作業中にこぼれる水を受けるためのトレイを下に敷いてください。
2. 浄水蛇口を開き、本体内部の圧力を抜いてください。
3. 付属のフィルターレンチを使用し、フィルターケースを回しながら引きぬいてください。使用済みカートリッジは自治体の分別に従って廃棄してください。
4. プレフィルターケースの黒いゴム製Ｏリングを取り出し清掃してください。
5. プレフィルターケース内部をすすいでから、１／３程度水を入れ、スプーン２杯程度の漂白剤を加えて柔らかいスポンジやブラシで洗ってください。研磨用のスポンジなどは使用しないでください。洗い終わったら水でよくすすいでください。
6. Ｏリングに清浄なシリコーングリースを塗布し、フィルターケースのＯリング溝（ネジ部の下）に押しこんでください。



注意： ゴム製Oリングはフィルターケースとキャップ部との間の水密を保つ部品です。このOリングがフィルターケースのネジ部下の溝に正しくはめこまれていないと水漏れにつながるおそれがあります。

7. カートリッジをフィルターケースに差し込みます。カートリッジの先端がケース内の奥にある突起にはまっていることを確認してください。

注記： フィルターカートリッジがそれぞれ正しいケースに入っていることを確認してください。前ページの図をご参照ください。

8. フィルターケースをキャップ部に確実に取り付けてください。締め付けすぎないように注意してください。水道管の止水栓を開き、水漏れがないことを確認してください。水漏れが微量の場合すぐには検知できないことがあるので、時間を置いて何度か確認してください。

ポストフィルター（第四フィルター）の交換

・ ポストフィルター（第四フィルター）は12ヶ月毎に以下の手順で交換を行ってください。

【作業手順】

1. 水道管の止水栓を閉じ、浄水タンク上部のバルブも閉じてください。作業中にこぼれる水を受けるためのトレイを下に敷いてください。
2. 浄水蛇口を開き、本体内部の圧力を抜いてください。
3. ポストフィルターをホルダーから取り出してください。
4. ポストフィルターに繋がっているチューブを外します。ワンタッチ継手のカラー部分を押しこみながら、反対の手で引っ張るとチューブが引き抜けます。外した使用済みポストフィルターは廃棄してください。

注記： 交換用のポストフィルターにワンタッチ継手を新たに取り付ける必要がある場合は、ワンタッチ継手のネジ部にフッ素樹脂製のシールテープを３周ほど巻きつけてからポストフィルターに取り付けてください。

注意： シールテープがOリングに接触しないようにしてください。水漏れにつながるおそれがあります。

注記：

・ ポストフィルターには流水方向を示す矢印がついています。ティー型の継手はポストフィルターの入水側、エルボー型の継手はポストフィルターの出水側に取り付けます。

・ 継手はまず手締めで締まるところまでねじ込み、その後スパナを使って1/4周だけ増し締めしてください。

5. ティー型のチューブ継手が右側になる向きに、ポストフィルターをホルダーに取り付けます。
6. チューブをそれぞれの継手に奥まで差し込みます。チューブを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。

５．逆浸透膜カートリッジの交換

逆浸透膜について

逆浸透膜カートリッジは、本説明書に記載の動作条件下でのご使用の場合最低一年間ご使用いただけます。通常は18～24ヶ月毎の交換が必要です。万一浄水中に不快な味や臭いが感じられた場合はすぐに逆浸透膜カートリッジの交換を行ってください。

実際の交換頻度は原水の品質と使用頻度によって変化します。浄水の精製時にフィルターが洗い流されるため、頻繁にご使用いただくことで水中の不純物やミネラル分によるスケールが膜の表面に蓄積されるのを防ぐことができます。従って、浄水の精製量が多くなるほど逆浸透膜カートリッジの寿命は長くなります。

本浄水器を長期間使用しない場合は、逆浸透膜カートリッジを本体より取り出して清浄なポリ袋などに密封し、冷暗所で保存してください。冷凍はしないでください。

注記： ２～３日以上浄水器をご使用にならない場合は、浄水タンクは空にした状態にしておいてください。

逆浸透膜カートリッジの交換と、浄水器内部の除菌メンテナンス

注記：

- 逆浸透膜カートリッジを交換する際には以下の方法で除菌メンテナンスも同時に行うことをおすすめします。プレフィルターやポストフィルターのみの交換の場合には必ずしも除菌メンテナンスは行う必要がありません。
- 新しい逆浸透膜カートリッジを取り付ける際には、プレフィルター、ポストフィルターも同時に交換することをおすすめします。

【逆浸透膜カートリッジの取り外し】

1. 水道管の止水栓を閉じます。本体内部の圧力が下がるまで５分間放置してください。カートリッジ交換の際に少量の水がこぼれることがありますので、水を受けるトレイ等を本体下に予め設置してください。
2. 浄水蛇口を開き、浄水タンク内が空になるまで水を流してください。浄水が出なくなったら浄水蛇口を閉じてください。
3. 逆浸透膜ケースを片手で支え、反対の手でキャップを外してください。
   注意： ケースのキャップに取り付けられているチューブは外さないでください。
4. 逆浸透膜カートリッジを取り外します。ペンチなどを使用してカートリッジを引き抜いてください。使用済みのカートリッジはお住まいの自治体の分別に従って廃棄してください。キャップを逆浸透膜ケースにもとのように取り付けてください。※まだ新しいカートリッジは取り付けないでください。
5. プレフィルターケース、ポストフィルターケースからそれぞれフィルターを取り除いてください。
6. プレフィルターケース、ポストフィルターケースの黒いゴム製Ｏリングを取り外してきれいに拭き取ってください。Ｏリングはまだ戻さないでください。

【浄水器の除菌メンテナンス】

7. プレフィルターケースを水ですすいでから、ケースの1/3程度水を入れてください。小さじ２杯の食器用漂白剤を入れ、研磨剤の入っていない柔らかいスポンジや布を使ってケース内部を洗い、水でよくすすいでください。
8. 手順６で取り外したＯリングに清浄なシリコーングリースを塗布してください。各プレフィルターケースのネジ部下の溝にしっかりと押し込んでください。

注意： ゴムOリングはプレフィルターケースと本体との間の水漏れを防ぎます。このOリングが正しい位置に設置されていることが重要です。

9. フィルターカートリッジを装着せずに、プレフィルターケースを本体に取り付けます。締め付けすぎに注意してください。
10. 水道管の止水栓を開き、２～３分通水してください。これにより漂白剤が流れ、浄水器内部全体に行き渡ります。
11. 水道管の止水栓を閉じ、浄水蛇口を開いてください。その状態で約30秒通水してから浄水蛇口を閉じてください。
12. 浄水器内部全体が除菌されるまで約30分間放置してください。
13. 30分後、浄水蛇口を開き、内部の漂白剤が流れ出るまで放置してください。（約３～５分）
14. フィルターケースを再び取り外し、中に残った漂白剤を捨てて水でよくすすいでください。

逆浸透膜、プレフィルター、ポストフィルターのカートリッジ交換

フィルターカートリッジの交換は、「プレフィルター、ポストフィルターの交換」の章をご参照ください。

逆浸透膜カートリッジの交換は、第二章「浄水器の設置」内、ステップ10「逆浸透膜の取り付け」およびステップ12「浄水器のスタートアップ」をご参照ください。

注記： 新しい逆浸透膜やフィルターを取り付けた後は、浄水タンクに水が貯まるまで３時間程度かかります。１時間ごとに水漏れがないことを確認してください。タンク内の水圧が高まるにつれ、設置後すぐには見られなかった水漏れが発生する場合があります。

６．トラブルシューティング

フィルターケースと本体の間から水が漏れる

1. フィルターケースと本体のネジがしっかりとかみ合っていることを確認し、必要に応じて一度外してから締めなおしてください。
2. 水漏れが続く場合は、水道管の止水栓と浄水タンクのバルブを閉じてください。フィルターケースを開け、中の黒いゴム製Oリングを取り外して清掃し、清浄なシリコーングリースを塗布してください。Oリングをフィルターケースのネジ部下の溝にしっかりと押しこんでください。フィルターケースを本体に取り付けてください。
3. 水道管の止水栓と浄水タンクのバルブを開いてください。もし水漏れが続くようであれば、お近くの水道業者などにご相談ください。

浄水タンクのバルブから水が漏れる

1. 水道管の止水栓を閉じてから浄水蛇口を開き、浄水タンクが空になるまで水を流します。
2. 浄水タンク上部のバルブに接続しているチューブを取り外します。タンク上部のバルブを回して取り外します。バルブのネジ部に巻かれているシールテープを一度剥がしてから巻き直します。バルブを浄水タンクに元のように取り付けます。チューブの先端１センチ程度をカットしてから、再びバルブに差し込みます。
3. 水道管の止水栓を開き、浄水蛇口を閉じます。そのまま浄水タンク内に水が溜まるまで数時間放置します。浄水タンクが満タンになり圧力が最大になった状態で、再度水漏れをチェックしてください。

チューブのコネクター部から水が漏れる

1. 水道管の止水栓と浄水タンクのバルブを閉じます。
2. 水漏れの箇所のチューブをコネクターから取り外します。
3. チューブの先端約１センチをカットした後、チューブの先端から16㎜の所に油性ペン等で印を付けます。チューブをカットする際は切り口が真っ直ぐになるように行ってください。切

り口にバリがある時は丁寧に取り除いてください。
4. チューブをコネクターに印が隠れるまで差し込みます。
5. 水道管の止水栓と浄水タンクのバルブを開いてください。水漏れが続くようであれば、お近くの水道業者等にご相談ください。

排水が全く出ない、排水の流量が少ない

注意： 排水は浄水の精製中以外は排出されません。浄水タンクのバルブを閉じてから浄水蛇口を開き、排水が始まるかどうか確認してください。

1. プレフィルターの状態を確認してください。プレフィルターが詰まっている場合はプレフィルターを交換してから再度排水の状態を確認してください。
2. プレフィルターの状態に問題がない場合は、排水流量調整器が詰まっている可能性が考えられます。お近くの水道業者にご相談ください。

浄水のTDS値が高い

TDS値が高い（原水の30%を超える）場合は、逆浸透膜カートリッジが交換時期に差し掛かっているか、または排水流量調整器が詰まっていることが考えられます。お近くの水道業者にご相談ください。

浄水の精製速度が落ちた

浄水の精製速度が低下したり、または全く精製されなくなった場合、プレフィルターの目詰まりか、逆浸透膜の劣化が考えられます。まずプレフィルターカートリッジを交換し、精製速度が改善されなければ続いて逆浸透膜カートリッジを交換してください。

浄水中に味や臭いが出始めた

浄水中に不快な味や臭いが徐々に出始めたら、フィルターカートリッジや逆浸透膜カートリッジの交換時期です。本説明書の該当箇所の説明に従ってカートリッジの交換を行ってください。

7．部品表

1	SH244796	排水クランプ
2	SH244797	給水アダプタ
3	SH244820	浄水蛇口
4	SH153049	プレフィルターケース
5	SH244797	1/4インチチューブ
6	SH244795	3/8インチチューブ
7	SH244783	浄水タンクバルブ
8	SH244782	浄水タンク&スタンド
9	155014-43	第一プレフィルター（P5）
10	155634-43	第二プレフィルター（EPM10）

11	555235-43	逆浸透膜カートリッジ（TFM-36）
12	555573-43	ポストフィルター（GS-10RO-B）
13	150539	プレフィルターケース用レンチ
14	150640	逆浸透膜ケース用レンチ
15	143495	シリコーングリース
16	SH244787	自動開閉バルブ
17	161080	逆浸透膜ケース
図外	SH244792	流量調整器